

# イモゾウムシによる被害サツマイモの見つけ方

鹿児島県病害虫防除所

平成20年11月に、指宿市でサツマイモの重要害虫イモゾウムシが県本土では初めて確認され、緊急防除を行っています。万一、イモゾウムシが他の未発生地域に侵入した場合、発見が遅れるほど発生地域は拡大し、根絶が困難になりますので、早期発見にご協力をお願いします。

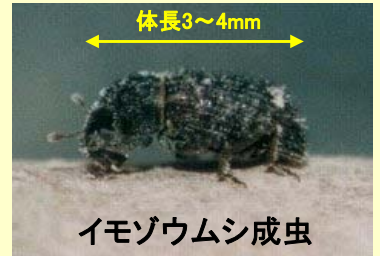
## 1 イモや茎にこんな穴が見られたら・・・



(左: 地表に露出したイモ, 右: 株元に近い茎)



直径2mm程度の  
明瞭な輪郭の穴  
(成虫の脱出孔)  
があれば・・・



イモゾウムシ成虫

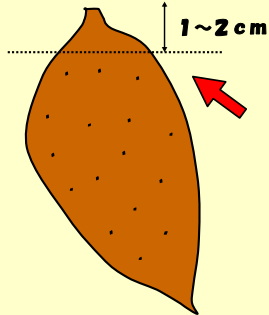
成虫は小さくて目立たないので、見つけるのは難しい

## 2 サツマイモ・茎の切開方法

サツマイモ・茎の切開を行ってみる

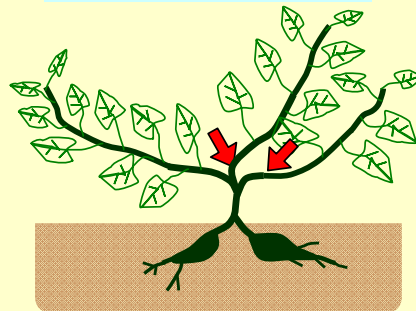
外観では異常が見られなくても、イモや茎を切開して、幼虫の食害痕等の有無を確認する。

### ● サツマイモの場合



イモのなり口から  
1~2cmのところ  
を輪切りにする。

### ● 株元の茎の場合



左図の矢印の部分  
にカッターナイフで  
少し切れ目を入れて株  
元を裂く。

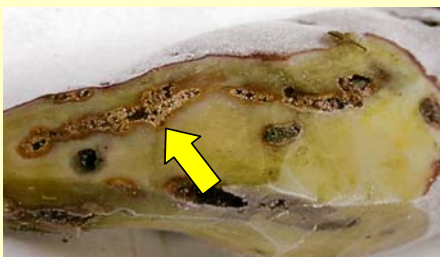


幼虫  
蛹



幼虫

このような食害痕や虫が見つければ被害イモ(写真左, 中はイモの断面, 写真右は株元の茎の断面)



食害痕(幼虫が食い進んだトンネル)



イモゾウムシ幼虫



イモゾウムシ蛹

● 食害痕の中には粉状の糞が詰まっている  
(紙などにこすりつけると粉になっているのがわかる)

● 体色は乳白色で、頭は黄褐色  
● 体をくねらせて動くが、動きはやや鈍い

● 体色は乳白色で、軟らかく潰れやすい  
● 触角と腿節(太ももの部分)を下方に向けてたたむ  
(アリモドキゾウムシは上方に向けてたたむ)

### 3 他の虫によるイモの被害と見分け方のポイント

#### ●ワタミヒゲナガゾウムシによる被害イモ



被害イモ(生イモよりも、乾燥イモや腐敗イモに発生する)



成虫(左), 幼虫(右上)  
蛹(右下:尾端に幼虫の頭蓋が付着する)

幼虫は体長約4.5mmで、曲玉型。色は乳白色で活発に体をくねらせ、噛みつき動作をする。一見してイモゾウムシ幼虫に似る(判別には、実体顕微鏡で下唇部を観察する)。

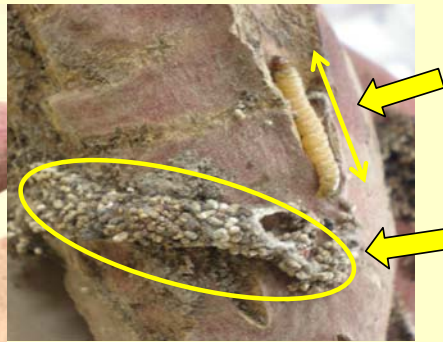
成虫は体長約3.5mmで、褐色～灰褐色。活発に動き回り、非常によく飛翔する。色や大きさはイモゾウムシに似るが、触角が長く、口が象の鼻のような形になっていない。

乾燥イモや腐敗イモに成虫が産卵し、ふ化した幼虫がイモの中で発育、蛹化し、成虫となって脱出する。

#### ●ミドリツヅリガによる被害イモ



収穫したイモや、ほ場で地表に露出したイモが被害を受けやすい。



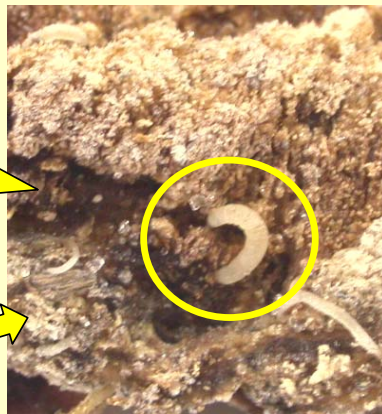
幼虫は背中がやや紫がかった色で体長は1～3cm。這い回るように活発に動く。

〔イモゾウムシ幼虫の体長は最大で5～6mm〕

糸につづられた虫糞がある。

〔イモゾウムシやアリモドキゾウムシは糸でつづらない〕

#### ●サツマイモの腐敗部分に食入したハエ類のウジ



穴の部分を切開してみると...

幼虫は透明な白色で、体長は3～10mm程度。泳ぐように活発に動く。

イモゾウムシの幼虫より細長く、体表はツルツル。

頭部器官が退化しているため、頭がないように見える。

食入したトンネル内に糞を詰めない。イモの内部やトンネルの壁面がドロドロに溶けている。

自宅や畑で、イモゾウムシまたは被害サツマイモを見つけたら、至急、下記までご連絡ください。



【問い合わせ・連絡先】

- ・鹿児島県病害虫防除所 ☎(直通)099-245-1157
- ・鹿児島県農政部 食の安全推進課 ☎(直通)099-286-2891